

研究課題名	Comparison of Optical Coherence Tomography Findings Between Novel Scoring Balloon and Cutting Balloon After Orbital Atherectomy (光干渉断層法による軌道式アテレクトミー治療後の新規スコアリングバルーンとカッティングバルーン所見の比較)
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 循環器科 氏名 加地 大悟
研究期間	(西暦) 臨床研究倫理審査委員会 ~ 2023年 3月
研究の意義・目的	石灰化困難症例におけるインターベンション治療で、新規スコアリングバルーンの有用性について論ずる事で、今後のインターベンション治療における知見を示している。
研究の方法 (対象期間含む)	2021年1月から2022年9月の間に、光干渉断層法を用いた冠動脈形成術を実施した471症例のうち、軌道式回転アテレクトミー術を実施した103症例を対象とした。その中で再狭窄症例を除いた99人の内、スコアリングバルーン：NSE Aperta [®] またはカッティングバルーン：Wolverine [®] の片方のみを施行した68 症例の中で、最終的に適切な画像が揃っている37 症例を対象とした。
①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合や 他機関へ提供される場 合はその方法含む) ②利用し、又は提供す る試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理 について責任を有す る者の氏名又は名称	①本研究における統計解析目的として、特定の個人を識別できる可能性のある個人情報を利用しない。 ②性別、生年月、身長、体重、合併症、既往歴、病変部背景、手技背景、手技前血管内画像、バルーン血管形成術後血管内画像、手技終了後血管内画像など ③当該内施設における本研究に携わる者のみの利用とする。 ④本研究で得られた情報等は漏洩、盗難、紛失等が起こらないよう適切な管理を行い、武蔵野赤十字病院 循環器科 加地 大悟が管理する。
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 循環器科 氏名 加地 大悟 TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525